平成２５年度シラバス（商業）　　　学番２７　新潟県立新発田商業高等学校

教科（科目）	商業（課題研究（プログラミング））	単位数	3	学年（コース）	3学年（商業科・情報処理科）
「総合的な学習の時間」に替える内容（課題）[1]			興味・関心、進路に応じた課題		

「総合的な学習の時間」の目標と具体的な方針
横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。

学習対象	将来の進路を踏まえた職業資格の取得により職業の選択と社会への貢献及び自己実現

「総合学習」で育てようとする資質や能力及び態度[2]		
学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会とのかかわりに関すること
・複雑な問題状況を踏まえて適切な課題を設定する。 ・仮説を立て、それに適合した検証方法を明示した計画を立案する。 ・必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的・実際的に分析する。	・自らの行為について当事者意識と責任を持って意思決定する。 ・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に着実に行動する。 ・自らの生活の在り方を見直し、改善に向けて日常的に実践する。	・異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重し理解しようとする。 ・互いを認め特徴を生かしあい、協同して課題を解決する。

副教材等	Visual Basicガイド（テキスト）

[1] ①国際理解など横断的・総合的な課題　②興味・関心、進路に応じた課題　③あり方生き方や進路に関わる課題
[2] 留意事項―３つの視点：探究的活動（探）・言語活動（言）・体験活動（体）に関する学習活動について

1　学習の目標

プログラミング言語Visual Basicによってシステム開発の学習を通して情報活用能力の育成を図り、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を育成する。

2　学習事項の概略

Visual Basicによって作品を作成することにより、これまで学習した「情報処理」「ビジネス情報」「プログラミング」の各分野に関する知識と技能のまとめとして体験的、実践的に活用し、総合的に学習する。

3　学習計画

月	単元名	教材	学習事項及び具体的な方策（指導内容）	留意事項	時間	評価方法
4	Visual Basic 入門	Visual Basic ガイド	・Visual Basic できることを学習する。	探究的活動 体験活動	3	・授業の取組 ・課題の進度状況 ・提出物
5	入出力と簡単な計算		・簡単な計算についてのフォームを作成やコードの記述、データの表示方法の変更、データのクリア		10	
6 7	条件の判定		・条件の判定についてフォームの作成とコードの記述		10	
	合計と平均		・合計を求めるアルゴリズムメソッドと平均の計算の学習		10	
9	タイマーの利用	Visual Basic ガイド	・イメージコントロール・タイマーコントロールの設定	探究的活動 体験活動	7	・授業の取組 ・課題の進度状況 ・提出物
10	オプションボタンの利用		・オプションボタンとフレームの設定		8	
11	コントロール配列の利用		・コードの記述とコントロール配列の学習		8	
12	マウスイベントとマルチフォームの利用		・クリックゲームの作成		7	
	卒業制作		・各自が課題を設定し、卒業作品の制作		8	

1	卒業制作 卒業制作発表	Visual Basic ガイド	・各自が課題を設定し、卒業作品の制作 ・卒業作品を発表する	体験活動 言語活動	6 4	・取扱説明書の内容、発表 ・授業の取組

4　課題・提出物等

①活動日誌、感想文の提出
②課題進度表
③卒業制作作品

5　評価規準と評価方法

観　点	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能・表現	④知識・理解
評価規準	Visual Basic に関して関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、Visual Basic を実施するにあたり実践的な態度を身に付けている。	Visual Basic に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	Visual Basic に関する基礎的・基本的な技能を身に付けるとともに、その成果を的確に表現する。	Visual Basic に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、Visual Basic の必要性や諸活動の重要性を理解している。
評価方法	※上記４観点を踏まえ、授業への取り組み状況や提出物等を含め総合的に判断します。 ・授業への取り組み ・システム開発への取り組み ・卒業作品の完成度 ・取扱説明書の内容			

6　担当者からの一言

情報処理関連科目で学習した内容の、総まとめ的な学習となります。どう活用するか、いかに合理的な作品にするかなどを考え、積極的に学習に取り組んで欲しい。